



Dai I NAIKA News

三重大学病院 令和 7 年 12 月 18 日
循環器内科、腎臓内科
季刊紙【第 31 号】

発行/三重大学大学院医学系研究科
循環器・腎臓内科学
〒514-8507 津市江戸橋 2-174
TEL 059-231-5015 FAX 059-231-5201
<https://www.sv.hosp.mie-u.ac.jp/naika1/>

腎臓内科の診療・研究について



血液浄化療法部
准教授 片山 鑑

1997 年に三重大学を卒業した片山 鑑（かたやま かん）と申します。卒後、宇治徳洲会病院にて 2 年間スーパーローテート研修を行い、1999 年に三重へ戻り第一内科に入局いたしました。その後、県内関連病院での勤務を経て、三重大学腎臓内科においてアルポート症候群モデルマウスを用いた基礎研究に取り組みました。大学院修了後は、2007 年から 2017 年までの約 10 年間、スウェーデン・カロリンスカ研究

所に研究留学いたしました。

2017 年の帰国以降は、三重大学腎臓内科にて腎臓内科医として勤務しております。現在の主な業務は、週 2 回の初診・再診外来、カンファレンスの統括、ならびに基礎研究・臨床研究における大学院生の指導です。帰国後 8 年余りが経過し、これまでに基礎研究分野で 3 名、臨床研究分野で 2 名の大学院生が学位を取得されました。現在も多くの大学院生の指導に携わっており、今後も教育・研究・診療の充実に努めてまいりたいと考えております。

腎臓内科領域では、従来より腎保護効果が確立されている

ACE 阻害薬や ARB に加え、近年は SGLT2 阻害薬により、腎機能低下の進行を有意に抑制できる時代となりました。また、慢性糸球体腎炎をはじめとする疾患においても、寛解を達成できる症例が増えてきております。慢性腎臓病の中には「治療により改善・寛解が期待できる疾患がある」ことを、ぜひ多くの先生方に知っていただければ幸いです。

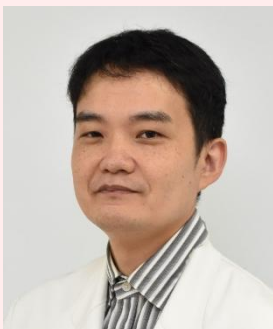
三重大学腎臓内科では治験にも積極的に取り組んでおり、本年より連携施設として、かかりつけ医の先生方の患者様が治験治療を受けられる体制を整えております。

先生方との主な接点は、腎機能障害を契機とした患者様のご紹介と考えております。特に慢性腎臓病は自覚症状に乏しいため、健康診断などで検尿異常や eGFR 低下を指摘された段階での早期発見・早期介入が極めて重要です。eGFR < 45 mL/min/1.73 m²、あるいは尿蛋白陽性のいずれかが認められましたら、ぜひご紹介いただければ詳細に評価させていただきます。

外来診療は私を含め 5 名体制で、月曜から金曜まで毎日初診外来を設けております。安心して患者様をご紹介いただけたら幸いです。三重大学腎臓内科では若手医師も徐々に増えており、今後も地域医療に貢献できる体制づくりを進めてまいります。

引き続き、患者様のご紹介ならびにご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

心房細動：パルスフィールドアブレーション（PFA）の出現、包括管理について



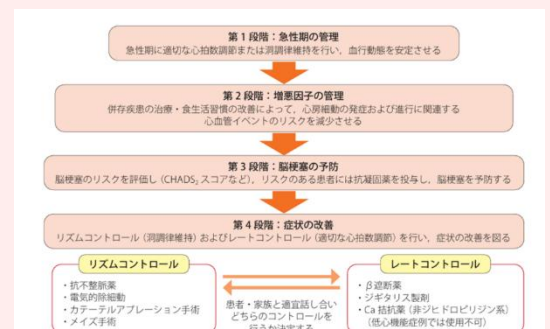
循環器内科
助教 香川 芳彦

心房細動（AF）は最も頻度の高い不整脈で、加齢、高血圧、心不全など多様な背景を基盤として発症します。動悸のみならず脳梗塞や心不全悪化につながるため、早期診断と適切な介入が重要です。近年はカテーテルアブレーションが AF 治療の中心となり、肺静脈隔離が基本戦略として確立しています。

従来の高周波焼灼や冷凍アブレーションに加え、近年注目されるのがパルスフィールドアブレーション（PFA）です。PFA は不可逆的電気穿孔（irreversible electroporation）を利用した新しいエネルギーで、心筋への選択性が高く、食道障害や横隔神経麻痺、肺静脈狭窄などの重篤な合併症リスクの低減が期待されています。

一方で AF 治療には、併存疾患の管理や生活習慣の是正など包括的なアプローチが不可欠であり、ガイドラインでもその重要性が強調されています。当院でも出血リスクの高い患者には経カテーテル的左心耳閉鎖術も行っております。

今後も先生方と連携し、患者さんにとって最適な治療選択を提供できればと考えております。引き続きご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



2024年JCS/JHRSガイドライン不整脈治療



パルスフィールドアブレーションのカテーテル



医員 堀 智裕

令和 3 年卒の堀智裕と申します。三重大学卒業後は桑名市総合医療センターで 4 年半勤務したのちに、令和 7 年 10 月より三重大学医学部附属病院でお世話になります。カテーテル治療や重症心不全のみならず、大学病院でしか学べないことなどを精一杯尽力して参りたいと思っております。至らぬ点も多々あるとは存じますが、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



医員 水谷 佳史

2025 年 10 月より三重大学病院で勤務しております水谷佳史と申します。三重大学医学部を卒業後は松阪中央総合病院で初期研修および後期研修を行い、現在に至ります。微力ではありますが、これからも三重県の医療に尽力して参ります。ご指導ご鞭撻の程何卒よろしくお願い申し上げます。

三重大学病院循環器内科、腎臓内科

～患者様をご紹介ください～

1. FAX 新患予約

「診療予約申込書」「診療情報提供書」を FAX：059-231-5541 へお送りください。

※「診療予約申込書」は三重大学医学部附属病ホームページ <http://www.hosp.mie-u.ac.jp> の「医療機関の方へ」からダウンロード可です。



2. 緊急受診、ご相談等

循環器、腎臓内科救急ホットラインへお電話下さい。病棟医長が直接対応させていただきます。

循環器内科 腎臓内科 外来担当医表						
		月	火	水	木	金
循 環 器	初診	土肥 薫 伊藤正明 栗田泰郎	藤本直紀 原田慎一	岡本隆二 香川芳彦 腫瘍循環器外来 (市川瑞貴)	杉浦英美喜 北野哲司 腫瘍循環器外来 (坂東泰子) 重症心不全外来	荻原義人 市川瑞貴 腫瘍循環器外来
		伊藤正明 栗田泰郎 森脇啓至 岡本隆二 大森 拓 高崎亮宏 藤本直紀 石山将希 ハ°-メ-カ-外来	荻原義人 土肥 薫 中森史朗 原田慎一	岡本隆二 香川芳彦 腫瘍循環器外来 (市川瑞貴)	杉浦英美喜 北野哲司 山下大輝 桐井陽祐 腫瘍循環器外来 (坂東泰子) 重症心不全外来	荻原義人 中森史朗 佐藤 徹 香川芳彦 水谷花菜
	再診					
腎 臓	初診	齋木良介	村田智博	山脇正裕	片山 鑑	森睦貴
	再診	片山 鑑	山脇正裕	齋木良介 山脇正裕	休 診	村田智博 森睦貴

循環器内科、腎臓内科救急ホットライン

三重大学病院循環器内科、腎臓内科連絡先(直通)

内科外来：059-231-5146 病 棟：059-231-5101

F A X：059-231-5518 研 究 棟：059-231-5015

患者様の紹介、相談にご活用ください。
季刊誌に関するご意見、ご質問は下記メールアドレス、
または当科 HP まで。naika1@med.mie-u.ac.jp

🌸 第一内科ホームページをリニューアルしました 🌸

<https://www.sv.hosp.mie-u.ac.jp/naika1/>

